

## ロッシーニの自筆書簡（複製と解説。水谷彰良コレクションより） まえがき

Lettera di Gioachino Rossini ed Olympe Pellisier [dalla Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo]

ジョアキーノ・ロッシーニの書簡やドキュメントの系統的な調査研究はロッシーニ財団が行っており、その成果は『書簡とドキュメント (*Lettere e documenti*)』として順次公刊されています。これはブルーノ・カーリ (Bruno Cagli) とセルジオ・ラーニ (Sergio Ragni) を共編者に、現存するすべてのロッシーニ書簡と関連文書史料を蒐集網羅する企画で、出版は1992年刊の第1巻 (1792年2月29日～1822年3月17日) に始まり、1996年に第2巻 (1822年3月17日～1826年10月11日)、2000年に第3巻 (1826年10月17日～1830年12月31日)、2004年に第3a巻「両親への手紙」 (1812年2月18日～1830年6月22日) と4年毎に続きましたが、これを最後にいったん途絶え、第4巻は10年経った現在も未出版のままとなっています。

筆者はロッシーニの書簡を10通、妻オランプ・ペリシエの書簡を1通所蔵しており、ロッシーニ財団に申告し、複製も提供済みですが、『書簡とドキュメント』第3巻に掲載された1点を除く10点は第4巻以降の掲載となります。それゆえここに複製を掲載して研究資料に供したいと思えます。宛名や文面に判読不明の部分もあり、完全な転記や詳細は『書簡とドキュメント』の出版を待たねばなりません。現時点で知りうることを簡単な解説として付しました。複製とコメントは、ロッシーニの自筆書簡の入口から個々の日付をクリックしてご覧ください。

### 【所蔵目録】

#### ロッシーニの書簡

日付(書かれた都市)	ロッシーニ自筆の有無	メモ
1824年9月10日(パリ)	本文は代筆。署名(G.Rossini)のみ自筆	パリの[判読できず]伯爵夫人宛。フランス語(代筆者不詳)
1826年10月13日(パリ)	本文は代筆。署名(G.Rossini)のみ自筆	パリの評論家サウロ氏宛。フランス語(王立イタリア劇場支配人カルロ・セヴェリーニによる代筆)
1838年2月3日(ミラーノ)	すべて自筆(署名 Rossini)	ボローニャのアンドレア・ゲディーニ宛。イタリア語
1846年2月14日(ボローニャ)	すべて自筆(署名 G.Rossini)	テーラモのジュゼッペ・ヴァーリア宛。イタリア語
1856年11月4日(パリ)	すべて自筆(署名 G.Rossini)	パレルモのフィリッポ・サントカーネレ宛。イタリア語
1859年1月16日(パリ)	すべて自筆(署名 G.Rossini)	ルーゴのフェルディナンド・リッチ宛。イタリア語
1860年8月24日(パシー)	すべて自筆(署名 G.Rossini)	[住所等の記載なし] スティーヴンス宛。フランス語
1861年4月20日[第三者の記入](パリ)	本文は代筆。署名(G.Rossini)のみ自筆	宛先不詳。フランス語(代筆者不詳)
1866年5月6日(パリ)	すべて自筆(署名 Rossini)	ロンドンのベネディクト宛。イタリア語
1866年8月1日(パシー)	すべて自筆(署名 Rossini)	[ジュゼッペ伯爵宛] イタリア語

#### オランプ・ペリシエの書簡

日付なし [1855-58年] (パリ)	全文自筆(署名 O. Rossini)	パリの薬剤師ミアール宛。フランス語
----------------------	---------------------	-------------------

(2014年11月作成。水谷彰良)